





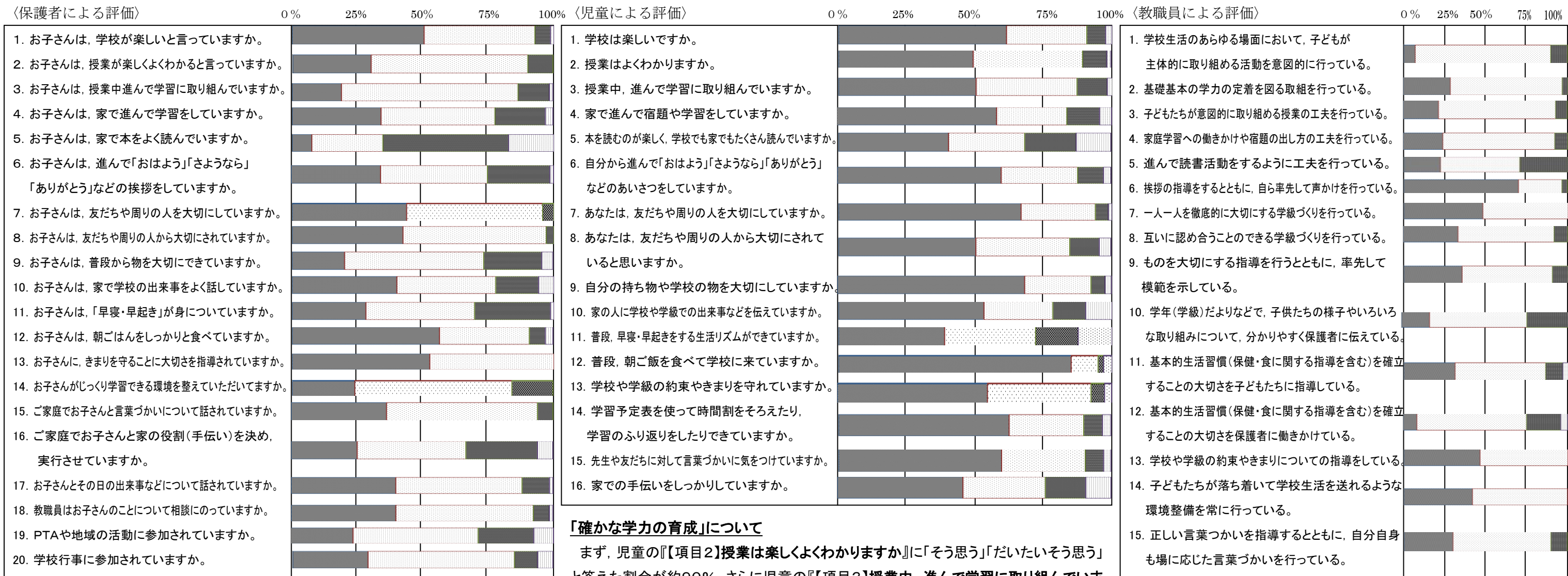
学校評価を児童の豊かな学びと育ちへ

【令和2年度7月実施 学校評価（保護者 児童 教職員）のまとめ】

左から  そう思う  だいたいそう思う  あまりそう思わない  そう思わない



平素は、本校教育推進にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。7月に実施いたしました学校評価の集計ができました。保護者の方々からも多くのご回答をいただきました。心より御礼申し上げます。



「よりよい人間関係づくり」について

まず、児童の『【項目7】あなたは、友だちや周りの人を大切にしていますか』に「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合が約94%、保護者の『【項目7】お子さんは、友だちや周りの人を大切にしていますか』も同じく約96%と、前回に引き続き、良好な回答を得ることができました。今後とも、どの子も大切にされ、誰にでも思いやりをもてるよう、さらに充実した教育活動を行っていきます。

また、児童の『【項目6】自分から進んで「おはよう」「さようなら」「ありがとう」などのあいさつをしていますか』に「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合が約88%で、前回の約81%から増加していました。あいさつは、人と人をつなぐ言葉です。今年度も、児童会が中心となって朝のあいさつ運動に定期的に取り組んだり、保護者および地域の皆様、教職員の継続した声かけを行ったりすることにより、一人でも多くの人とあいさつでつながり合い、さらに活気あふれる学校にしていければと思います。

しかし、児童の『【項目15】先生や友だちに対して言葉づかいに気をつけていますか』に「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合が約90%と、前回の約96%から減少していました。あいさつ同様、正しく温かい言葉づかいも大切にすることで、より豊かな人間関係を築いていけるような環境づくりを心がけていきたいと思います。

「確かな学力の育成」について

まず、児童の『【項目2】授業は楽しくよくわかりますか』に「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合が約90%、さらに児童の『【項目3】授業中、進んで学習に取り組んでいますか』の割合も同じく約87%と、それぞれ前回よりも割合が増加していました。さらに、保護者の【項目2】【項目3】も、児童のそれと、ほぼ同様数の回答をいただいています

本校では、「共に学び合う」ことを重点おいた、児童が主体的に取り組めるような授業展開を心がけています。授業中の児童の姿や家庭学習での成果物を見ても、どの学年も前向きに学習に臨んでいる児童が多いように思います。しかし、約10%の児童が「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答していることから、今後もすべての児童が、自ら考えて課題を解決し、意欲的に学べるような授業を研究していきます。

一方で、【項目5】の読書に関する質問は、「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合が、三者ともに低い割合となっていました。ある研究によると、読書は言語能力の発達に好影響を与える他、数分間の読書でストレス解消にもなるそうです。学校でも、朝読書や各授業場面で、読書の楽しさや自分に合った本を見出せるよう支援していきます。

「基本的な生活習慣の確立」について

児童の『【項目11】普段、早寝・早起きをする生活リズムが身についていますか』に「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合が72%と、前回の約66%から増加していました。さらに児童の『【項目12】普段、朝ごはんを食べて学校にきていますか』の割合も同じく約95%と、前回の約93%から増加していました。

コロナ禍で約2ヶ月の臨時休校もあり、家で過ごすことも多かったと思われる1学期でしたが、そんな中でも生活習慣をしっかりと整えようとする姿勢が伺え、嬉しく思います。ご家庭でも、早寝、早起き、朝ごはん、歯磨きなどの働きかけを行っていただき、ありがとうございます。学校でも引き続き、学級活動や保健指導の時間に、生活リズムを整えることの大切さについての指導を継続していきたいと思います。

【教職員の自己評価について】今年度は感染症対策により、児童同士の対話など学習活動が制限される中での回答となり、前回よりも「そう思う」の割合が減少している項目が複数見られました。しかし、一人ひとりを大切にし、前向きな姿を大事にした教育活動に取り組んでいることは変わりません。今後とも、教職員一同、より一層の子どもたちの成長につなげていけるよう、努力してまいります。